

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 9 / 2013 # 5

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ものすごく暑い夏』

[2] Pepeのひとりごと

『吹奏楽コンクール』

[3] おすすめ動画

『The First Test, Valve/Slide trumpet: Naga Phoenix』

『Casterede Sonatine for Trombone, Trumpet and Piano』

[4] 演奏のヒント！

『もし今出した音が○○だったら』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『ものすごく暑い夏』

毎年、夏が信じられないくらい暑くなってきていますね。
みなさん、体調など崩さないで元気に過ごしていますか？
僕はなんとか生き抜いています！（笑）

この暑さでは、いろいろと過去と違ってくることがあると思います。
日常生活でいうと、水分や塩分補給をこまめにするこ

楽器演奏では何がありますか？

木管楽器と違って金管楽器は湿度や温度の変化には強いので、汗からくる汚れなどですかね？（笑）

ここで一つ考えてもらいたいことがあります。

それは、チューニング。

チューニングといえば、きっと442Hzなどで普段やっていると
思います。

こう暑いとすべての音程が高くなってしまって大変ですよ。

エアコンのないところで合奏をする場合は、チューニング管を限界
まで抜いて対応するしかないと思いますが、管楽器だけの分奏や、
自分の個人練習やセクション練習では、ムリをして442Hzに合わせ
ようとしないで、高いまま周りの人と合わすことを考えてもらい
たいと思います。

ということかという、例えばチューナーを使うのであれば
444Hzなどにしちゃうんです。

そこで、他の音との音程のバランスを取るようにはしてみてください。

一つ一つの音の音程を気にするのではなく、すべての音がいい
バランスで並んでいるのか？という感じですね。

444Hzにする必要があるわけではないんですよ。

例えばチューナーは442Hzのまま、基準とする音をB♭とする
のなら、そのB♭が20高かったり30高かったりしますよね。

その場合、他の音もその基準とした音の高さになるように確認を
していくんです（B♭が20高い場合は、すべての音を20高い状態
にする）。

そうすると、自分の中にある「音程感」も良くなりますし、演奏中
に音程の修正もできるようになってきやすいと思います（演奏中、
最初から最後まで442Hzのままである保証はどこにもありません
からね。常にその場の周りの音程の中でいい音で演奏することが
大切になってきます）。

一つ一つの音を「どのくらい高い」などという感覚で捉えて簡単に
替え指などを使わないよう、気をつけてくださいね。

替え指が悪いというわけではありませんが、替え指を使うがために
（音程を合わせるがために）音色が犠牲になっている音を聴くことが
たまにあり、少々ガッカリすることがあります。

思い当たることがある人は、ぜひ試してみてくださいね！

[2] Pepeのひとりごと

『吹奏楽コンクール』

今年もこの時期が来ました。

今年は、例年よりもたくさんの演奏を聴くことができました。

審査員として聴くともものすごく大変ですが、一人の音楽の聴衆として聴くと、とても面白く、かつ勉強になります。

今年のコンクールは中学生、高校生、社会人とそれぞれを少しずつ聴かせてもらいましたが、たくさんの知らない曲を知ることができると同時に、たくさんの演奏の仕方、音楽の作り方、指揮の仕方などと出会うことができました。

もちろんプロではないのでいろいろとテクニックなどが十分でないところもたくさんありますが、聴き方によってはたくさんの勉強するポイントがあるんですよ。

音で何かを表現すること、伝えたい気持ちを音に乗せて聴き手に届けること、この2つに関しては、プロとアマの境界は狭いことも場合によってはあります。

僕自身は、常に自分に厳しく接し、学べるところからは常にアンテナを張って勉強、吸収していこうと思っています。

まだまだこれからコンクール！というところもあると思います。ぜひ「上手／上手ではない」だけで判断しないで演奏を聴いてみてくださいね。今までのあなたにはなかった表現方法などが見つかることがあると思いますよ。

[3] おすすめ動画

『The First Test, Valve/Slide trumpet: Naga Phoenix』

<http://www.youtube.com/watch?v=fpigL8sv8bl>

数年前から、世界中で新しい楽器（マウスピース含む）の工房ができていますね。

大きな工房から小さな工房まで様々なものがあるようですが、今日はそういったものの中から面白そうなものがあったので、その動画を紹介します。

ヴァルヴとスライドを両方持つトランペットです。
試しているのは、きっと興味を持って作ってみた本人（もしくは
作った人にごく近い人）だと思うのですが、とても嬉しそうに
いろいろと吹いているようです。

こういう楽器は、書かれているものを演奏するスタイルではなく、
アドリブで吹き進めていくスタイルにより合うように僕は思います。

こういうものが海外にいてもすぐに知ることができ、興味があれば
すぐその本人と連絡が取れるこの環境。
ほんと、便利な世の中になったものですね（笑）。

それらが容易にできるようになるために、英語をはじめ何か日本語
以外の言語を勉強していくのは、この先とても有効だと思いますよ。

『Casterede Sonatine for Trombone, Trumpet and Piano』
<http://www.youtube.com/watch?v=16qMO8BfYig>

Trombone吹きの方なら一度は吹いたことがある、もしくは聴いたこと
があるこの曲ですが、この動画ではTrumpetを入れて、Tromboneと
Trumpet、そしてPianoとのトリオのヴァージョンとなっています。

Trumpet奏者と一緒にジョイントリサイタルをする予定の人、もしくは
Trumpet吹きで、Trombone吹きと一緒にジョイントリサイタルを
する予定の人は、このヴァージョンを考えてみていいのではない
でしょうか？

ちなみに、このヴァージョンの著作権に関して、僕は全く何も
知りません。

勝手にこれをやっているとなると問題になると思いますが、出版社や
作曲者の親族などに許可を得てやっているのであれば、他の人が
演奏することも可能になると思います。

その場合は、演奏者自身で著作権を持っている人にコンタクトを
とって許可を得てくださいね。

[4] 演奏のヒント！

『もし今出した音が○○だったら』

この○○のところ、何が入ると思いますか？
これ、たまに僕がレッスンの時に言ったりすることなのですが、

『もし今出した音が人生最後の音だったら』

もしくは

『もし今出した音が今日の練習の最後の音だったら』

などとしてみてください。

そうすると、きっと演奏を始める前にかかなりの準備を頭の中でしてから演奏を始めると思います。

そうすることで、つまらないミスを避けることができますし、それだけしっかり準備をしてもミスをしてしまうところは、どのようにすればミスをしないで済むのかを、もっと真剣に考えて対処することができるようになると思います。

日常の練習でも、このような感覚を持ってやるといいですよ。

僕自身は、「いつ歯がなくなったりして吹けなくなるかもわからない」という気持ちを常に持っています。

なので、普段の練習でもムダな音は出していないつもりです。

あとは、練習に没頭してしまうと無意識にその辺りの意識が緩みやすいので（繰り返し練習などでは、どうしても1回1回の質が落ちてしまいやすいです）、いつ急に練習をやめないといけなくなっても、気持ちよくその日の練習が終われるように、後悔をしないために「いつも最後になってもいい音」で演奏するように心がけています。

ぜひみなさんも、明日（今日？）からこういう感覚を持って練習をしてみてくださいね！！

編集後記

今年は、例年に比べて暑さに対応できているように自覚していたのですが、他の人に聞いてみると、どうやらそう思っているのは本人だけのようなのでした（笑）。

暑さ、とりわけ蒸し暑さにはめっきり弱い僕ですが、まだまだ元気に、毎日活動をしています。

吹奏楽コンクールも始まり、いろいろな演奏を聴く機会も多くなってきましたね。

プロ、アマにあまりこだわらず、ぜひこの機会にたくさんの生の演奏

に触れるようにしてみてください。
生の演奏から得られるものはたくさんありますよ（反面教師になるものも含めて。笑）。

コンクールで演奏する人たちは、頑張りすぎて音楽から離れてしまわないよう注意しながら、いい音楽を創りあげてくださいね。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com